

地域のつながりを大切に、 田んぼダムの取組

—洪水防止機能—

こうひがしかんきょうほぜんかつどうそしき 甲東環境保全活動組織



環境保全活動の看板



木枠の排水口の設置



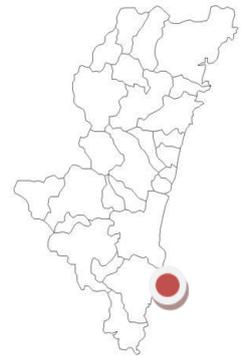
板で排水量を調整
(雨降り前に行います)

日南市は、市内を流れる広渡川が約20年前に豪雨のため下流堤防が決壊し、市街地が浸水する洪水被害を受けた経験がある。

こうした背景から、広渡川流域に位置する甲東地区では、甲東環境保全活動組織を設立し、平成26年度から降雨を一時的に田んぼに溜める「田んぼダム」の取組を自治会ぐるみで始めた。

同組織の取組は、油分が多く水に浸けても腐りにくい地元産^{おひすぎ}飼肥杉の端材を利用した会員手作りの排水口の設置である。田んぼダムの拡大に取組み、取組に同意された地区内の田んぼ1枚1枚に「農家さんが排水管理に手がかからないように」木枠の排水口を取り付けている。

この他、同組織は、花の植栽や収穫祭など、地域ぐるみの取組を行っている。



宮崎県日南市

〔洪水防止〕

田んぼダムは、田んぼに降った雨水が一気に河川へ流れ出ることを抑えるために、降雨時に水田の排水口を板で堰止めるもの。手作りの木枠の排水口は、7cm幅の板2~3枚で排水の水位を簡単に換えられる構造で、各農家が自主的に調整を行うことになっている。この取組は、地区内31haのうち現在20haまで拡大している。

〔地域社会の振興・景観形成〕

同組織では自治会の親子会や婦人会と連携し、秋には田んぼでのコスモス・ひまわりの種まきを行い、地域の景観形成に努めている。また、冬に収穫祭を開催し、地区で収穫したもち米で餅つきや手作りかまどで餅を焼くなど、子供から高齢者まで住民100人ほどが集まる昔ながらの地域のつながりを守る取組を行っている。

【令和3年度更新】

甲東環境保全活動組織の主なイベント



ひまわり・コスモスの種まきと花園



収穫祭の様子